



在宅医療で 輸血をする

最近、病院から自宅での赤血球や血小板の輸血を依頼されるようになってきました。



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

通常骨髄で血球は作られますが、白血病や骨髄

赤血球輸血は、しばしば多くの間行つと症状が大幅楽になる方が割合として多いため、病院の外で

最近、病院から自宅での赤血球や血小板の輸血を依頼されるようになってきました。

通常骨髄で血球は作られますが、白血病や骨髄

赤血球輸血は、しばしば多くの間行つと症状が大幅楽になる方が割合として多いため、病院の外で

異形成症候群など血液の病気があると、正常な血球を作れなくなります。すると赤血球が少なくなり、息切れやだるさを感じるようになります。また、止血機能に関わる血小板が少なくなれば、青アザや鼻血が出現するようになります。

最近、病院から自宅での赤血球や血小板の輸血を依頼されるようになってきました。

最近、病院から自宅での赤血球や血小板の輸血を依頼されるようになってきました。

↑診療相談はこちらから

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
 (訪問中のため不在が多い)
 ■電話対応 : 午前 9:00 ~ 午後 6:00
 ■定休日 : 土日 (祝日は診療)
 ■訪問地域 : 西東京市、東久留米・新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック

